

# 長年の功績に光

# 春の褒章

## 藍綬褒章



和合 協一さん  
(船越・74歳)

## 公正公明を信念に選挙を遂行

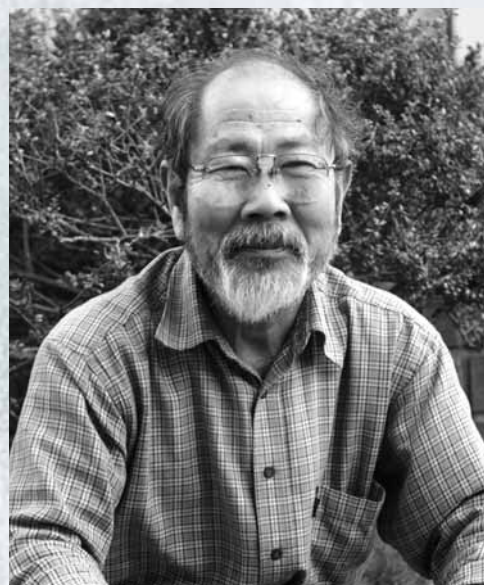
船越の和合協一さん(74)が、藍綬褒章を受章しました。和合さんは「今回の受章は、大変身に余る思いです。とても光栄に思います」と受章した思いを話します。

昭和63年に山田町選挙管理委員に選任されて以来、23年間にわたり公平で違反のない選挙事務を推し進めてきました。平

成8年からは同委員会委員長に就任。障がいのある方や高齢の方が投票しやすいようにバリアフリー化や土足対応を実現したほか、現在でも選挙当日は必ず全投票所の現場視察を実施し、投票所の設備環境などのさらなる改善に努めています。

「いつの時も公正公明を信念に職務を遂行してきました。選挙とは民主主義の根幹にあるものです。選挙が違反なく公平に行われてきたのは町民の皆さんのご協力があつてこそで、皆さんには本当に感謝しています」と笑顔で話していました。

## 黄綬褒章



梅木 達也さん  
(大浦・69歳)

## 原木シイタケ栽培を続け35年

大浦の梅木達也さん(69)が、黄綬褒章を受章しました。梅木さんは「これまでシイタケ栽培を続けてきたご褒美だと思ひ、大変ありがたいです。しかし、原発の現状を考えると素直に喜べないのが悔しいです」と厳しい表情を浮かべます。

梅木さんは35年間、シイタケ栽培一本で生計を立ててきました。自然の力のみを使う原木栽培は作柄を安定させることが難しく苦勞の連続でしたが、収穫前のほだ木がずらつと並んでいる光景を見ると苦勞も吹き飛び、達成感に満たされるそうです。

現在、東京電力福島第一原発事故の影響でいつ出荷制限になるか予断を許さない状況。それでも山田の名産品を失わないように日々奮闘しています。

「現在進行形の問題だが、これまで一緒にやってきた仲間とともに頑張つていきます」と力強く決意を話していました。